

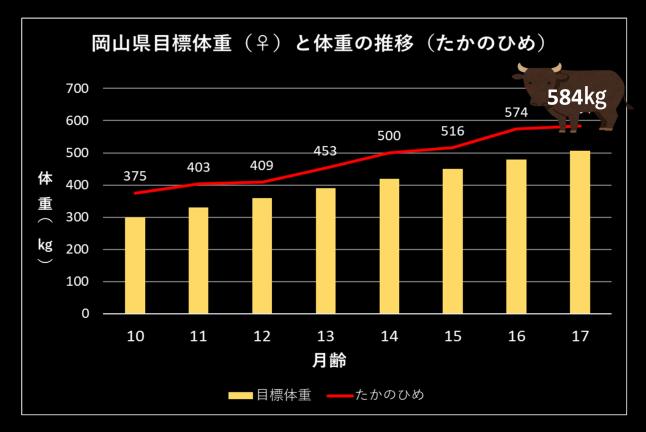






<第7回の取り組み>

ビール粕主体のエコフィードを給与目標体重を大きく上回る結果に!









食い止まり対策

今回した対策

オリジナルクラッカーの給与

・ウォーターカップのこまめな清掃

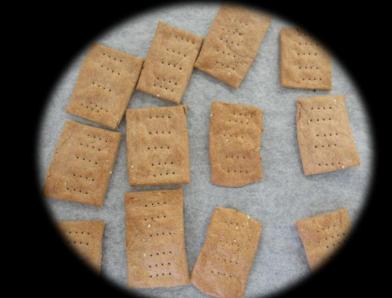
・十分な飲み水の確保

Qなぜクラッカー作製をしたのか



オリジナルクラッカーで食欲増進作戦

- ・濃厚飼料多給による弊害を和らげる
- ・人間も食べれる安全性
 - →検証済み
- ・タンパク質豊富





12 つくる責任 つかう責任

CO

X

13 気候変動に 具体的な対策を



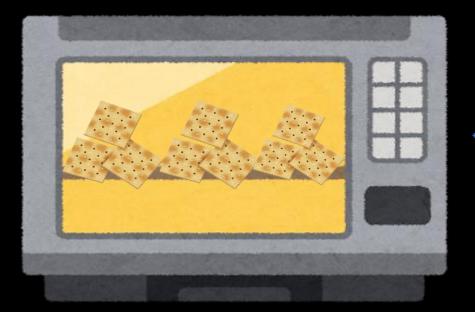


手順

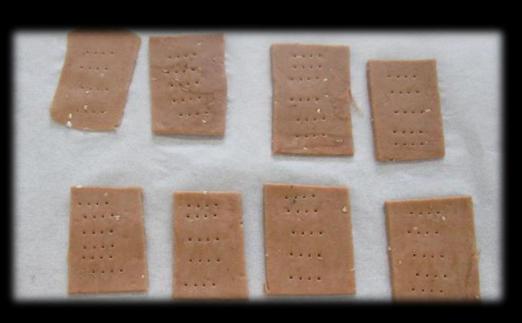
①ボウルに材料+(水・油)を 入れて混ぜる



②薄く伸ばしオーブンで15分焼く







調査期間	添加飼料 (40g)
8月19日~23日	おから
8月26日~30日	ふすま
9月2日~6日	米ぬか
9月9日~13日	ミックス

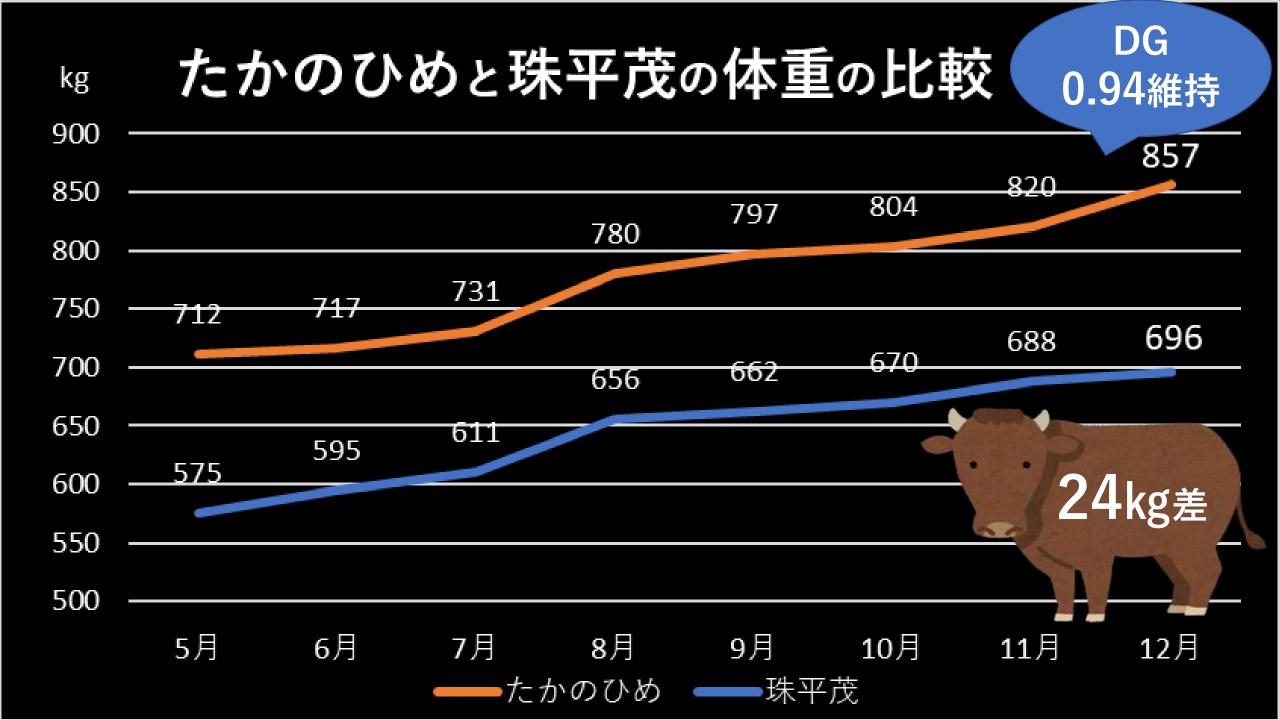
ミックスきな粉入り

9月16日~20日

結果

残飼量と気温の推移





飼育環境改善

ブラシの設置

痒い所を柵などにこすりつけていた →牛が常時、痒い所をかけるように

期待できる効果

皮下脂肪を落とす



ストレス 軽減

→肉質の向上

製作方法

- (1)採寸
- (2)金具・番線で固定 (3)設置







完成





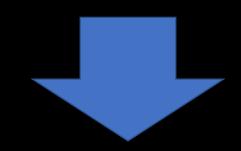
- ●クラッカー
 - ふすま
- ・硬い食感、独特の香りと風味
- ・三大栄養素の他に食物繊維を含む豊富な栄養
 - →ルーメン内の活性化につながった可能性

きな粉

- ➡嗜好性が高い
- ・DGが0.94を維持
 - →安定した採食量を得られた

●ブラシの設置

・毎日のブラッシング、ブラシの設置



- ・牛が自分で身繕いができる 中地海に過ぎますとができる
 - →快適に過ごすことができ、ストレス軽減
- ・ヨロイの発生や皮膚病の軽減

「今後の課題」

- ・福姫櫻号の肉質改善
 - →手作りブラシの改良
- ・アニマルウェルフェア
 - →快適な飼育環境作り
- ・食い止まり対策
 - →添加飼料の検討

